

岩国国民報

発行所
日本共産党東部地区
岩国市委員会
岩国市山手町4-3-5
22-2245

4月号

市議会議員
大西明子
山田泰之
藤本ひろし
古谷清子

赤旗

お読みください
日刊 月 2900円
日曜版 月 800円

3月議会603億円の予算決まる

603億円の一般会計予算は、子どもの医療費助成、放課後児童教室整備、妊婦・乳幼児健診などの新設など評価できるところもあります。しかし、福田市は艦載機受け入れの立場で愛宕山への米軍住宅を含む米軍施設建設に反対していません。

日本共産党市議団は、民間空港ターミナル運営会社設立への6千万円の支出、正規職員を非正規職員へ置き換え、就学援助制度の後退、学校給食の民間委託の推進などの問題点を指摘し、一般会計予算に反対しました。

大西議員の一般質問

「市長は民主党政権に

米軍再編の見直しを求めよ」と質問

民主党は米軍再編について見直しの方向で臨むとマニフェストに掲げて選挙を戦った。ところが、北澤防衛大臣は艦載機の岩国移転はロードマップ通り実施すると明言、公約を破り、岩国市民の民意を裏切りました。政権は自公政権から、民主党に変わったのだから、遠慮せず白紙に戻して検討するよう政府にものを言うのが市長の仕事、

空港が

赤字になったら

誰が

責任を取るのか

民間空港再開で市民に負担をかけることが絶対にあってはならない。34万人以上は確実「民間空港再会の責任は全て全日空が持つ」と地方新聞に報道されているが、仮に搭乗率60%を下回った時、能登空港のように搭乗補償制度を検討をするのか質問。

岩国空港の予定路線が採算性から優位な羽田便であることから、全日空も岩国へ羽田便の需要には自信を持っており、自治体の支援は想定しないとの明言があったと答弁。

山田議員の一般質問

農林水産業の

担い手確保を

自民党農政の農林水産の予算の多くが公共事業に占めていたが、政権交代で多くの問題を残しながらも、一定の是正で価格補償、所得保障中心の予算へと転換への一歩を踏み出した。今日の日本の農業、林業、水産業の一次産業は深刻な危機に直面しており、食料自給率は39%と低く世界でも異常なまでに低下している。岩国市としての農林水産業の担い手の育成、確保はどのように取り組むのかと質問。

答弁では、農林水産業の担い手は全体的に高齢化が進んでいる。農業の担い手確保について計画的、体系的に支援する「市担い手育成総合支援協議会」の運営を更に充実させたい。

林業については、森林整備の中核的な担い手の森林組合等を中心に就業希望者への雇用情報の提供、就業相談、体験就業を実施し、担い手確保に取り組む。水産業は、水産物の安定供給と新規就業者の確保、育成、意欲、

ある漁業者の経営安定、UJIターン対策等多様な育成が急務であるとしました。

消防団員の 待遇改善を求める

消防団員は火災・災害時には昼夜を問わず、地域住民を守る為に消防署を補充する重要な役割を果たしている。今日、災害が複雑多様化し、消防団の活動はますます重要になっており、消防団活動の充実のために改善を求めました。

答弁では、災害時の費用弁償は部分的に高い低いはあるが、全体的には適正な水準とし、消防出初式への参加人員の制限については、消防団の意見を参考に検討していくとしました。



見直せ米軍再編

5・23 岩国大集会

日時 5月23日(日曜日)
午後2時~3時30分
場所 元町第三街区公園
(旧生協前広場)
代表世話人
草の根ネット 井原勝介

藤本議員の一般質問

藤本議員は3月議会で基地依存財政からの脱却、基地政策課に専門職員を置くこと。昭和町・藤生線のための基地内用地の返還要望書を提出せよ。就学援助制度の大改悪を改め、せめて算定基準を収入から所得へ戻せと4点で質問しました。

基地依存財政から

脱却せよ

岩国市の答弁はこの道を排除しませんでした。

岩国市の今年の一般会計予算は603億円です。そのうち約30億円が基地関係の交付金、補助金です。岩国市の場合一般会計に占める依存度は5%ですが、市長が基地反対派に変わった名護市では24%（08年度）が基地関連経費で占められています。それでも、基地反対派の市長を市民が選んだのは、こうした基地にまつわるお金が地元業者に落ちないで、東京のゼネコンが持つて帰る。地元企業の倒産が、この4年間で20社にも及んだことが大きな要因になったことを紹介し、岩国市がこれから愛宕山への国病移転、民間空港、中心市街地活性化、国病跡地処理などを基地関連経費で賄うなど過度に基地関連予算に頼る道は非常に危険だと指適し答弁を求めました。

改悪された 就学援助制度を 一元にもどせ

就学援助受給者は制度改悪で山口県下市部で3位から10位に、76%にまで落ち込ませた基準を元に戻せと主張しました。岩国市は見直さないと答弁しました。

古谷議員の一般質問

食肉センター

建設事業について

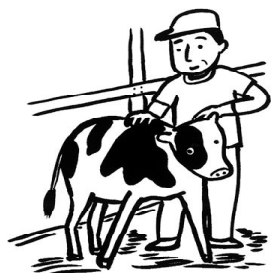
周東食肉センターは、古い歴史を持ち山口県の大半の食肉処理をしている施設ですが、老朽化で衛生面での問題が指摘されています。合併前から建て替えて

の要望がありながらも前に進めない状態が続いていましたが、今年度予算でようやく目途がつきました。今後の建設計画、運営方針について質問。

現在の解体処理方式を見直し、オンライン方式による解体処理し、施設は衛生面に配慮した密閉型とし、近代的な処理設備を有する計画としている。

運営は指定管理者制度を導入予定。食肉販路の拡大、高森牛のブランド化、生産肥育農家の活性化、地域経済の発展にも寄与すると考えていると答弁。

その他、農家所得の増大の為に施策について、地域の自給率向上のための取り組みについて、コンパクトマーケット事業について、学校給食における地元食材の供給について、又、学校の適正規模適正配置については、保護者説明会について、今後のスケジュールについて質問を行ないました。



「滑走路運用時間を午後10時までとすることを求める決議」を提出

日本共産党市議団は米軍岩国基地の滑走路運用時間を普天間、厚木基地並に夜は10時までとする決議を提出し、全会派一致で採択されました。

市議団は討論の中で、騒音苦情が3月に入って17日までで既に247件(3月全体で380件)にも上がっていることや、時間外無通告飛行、普天間基地所属のCH46ヘリコプターの市街地低空飛行など米軍の傍若無人な態度を追及しました。「飛行機が落ちてきそうな爆音ですが何とかしてください」「今何時だと思っているのか、我々市民に寝る権利はないのか」「今飛び起きて時計を見ると12時前ですが、なぜこんな時間に飛ぶのですか」という切々たる声を届けて、賛成討論しました。

参議院選挙

「建設的野党」として現実政治を動かし
「国民が主人公」の政治を目指します



選挙区
木佐木 大助



比例代表
仁比 そうへい

政治を動かすのは、国民の力です。これからも、現場から皆さんの要求実現を迫ります。一緒に、いのちと権利を守り憲法が輝く日本と世界をつくりましょう。あなたのお力をお貸しください。

参議院比例代表は「日本共産党」と書かれた票がすべて議席にむすびつきます

- 1 回目 選挙区は個人命を書きます。
- 2 回目 比例代表は「日本共産党」と書きます。